「き」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「き」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 37

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「き」で始まる語彙辞典（メジャー）

きあい - まけ【気合（い）負け】
［名］（スル）
相手の気合いに圧倒されて気持ちの上で負けること。「戦う前から―する」

黄色(きいろ)い声
女性や子供などのかん高い声。「―を張り上げる」

き - うつり【気移り】
［名］（スル）
関心や注意が一つのところに集中せず、他のものへと移ってゆくこと。「飽きっぽくてすぐ―する性格」

き - うん【気運】
物事がある方向に進もうとする傾向。時のなりゆき。「政権交代の―が高まる」

き - うん【機運】
時のめぐりあわせ。物事をなす時機。「―が熟する」「―に乗じる」

き - えい【気鋭】
［名・形動］
気力があって、意気込みが鋭いこと。また、そのさま。「新進―の批評家」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

き‐えつ【喜悦】
［名］（スル）
心からよろこぶこと。大きなよろこび。「―の声を上げる」

気炎（きえん）を揚（あ）・げる
威勢のいいことを言う。気炎を吐く。「酒を飲んで―・げる」

きおい‐た・つ【気負い立つ】
［動タ五（四）］
ある物事に立ち向かおうとしてひどく意気ごむ。勇み立つ。きおいこむ。「―・って新しい仕事に臨む」

き‐おくれ【気後れ】
［名］（スル）
相手の勢いやその場の雰囲気などに押されて、心がひるむこと。気おじ。「人前だと―して話ができない」

き‐おち【気落ち】
［名］（スル）
失望して気力をなくすこと。「試合に負けて―する」

き‐おも【気重】
［名・形動］
気分がふさいで、積極的に何かをする気にならないこと。また、そのさま。「失職して―な毎日」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

き - がい【気概】
困難にくじけない強い意志・気性。「先駆者の―を示す」「―のある人」

気(き)が多・い
心が定まらず、関心や興味がいろいろに変わる。「―・くて何にでも手を出す」

気(き)が差・す
うしろめたい気持ちがする。気がとがめる。「黙って欠席したので―・す」

機(き)が熟・する
ある物事をするのに、ちょうどよい時機になる。「改革の―・する」

気(き)が急(せ)・く
早くしようと気持ちがはやる。気があせる。「早く知らせねばと―・く」

気(き)がそが・れる
何かをしようという気持ちがくじかれる。「批難する―・れる」

気(き)が高ぶ・る
興奮する。「―・って眠れない」

気(き)が咎(とが)・める
うしろめたい気持ちがする。やましさを感じる。「方便でもうそをつくのは―・める」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

気(き)がな・い
関心がない。気乗りがしない。「まるで―・い返事」

気(き)が張(は)・る
気持ちが引きしまる。緊張する。「上司の前では―・る」

気(き)が揉(も)・める
心配で気持ちが落ち着かない。やきもきする。「到着が遅れて―・める」

きき‐あわ・せる【聞（き）合（わ）せる】
［動サ下一］［文］ききあは・す［サ下二］
① いろいろとたずねて真偽や実態を確かめる。問い合わせる。「所在を―・せる」
② 聞いてくらべる。聞きくらべる。「演奏の違いを―・せる」

きき‐およ・ぶ【聞（き）及ぶ】
［動バ五（四）］
人づてに聞いて知っている。前々から聞いている。「ご高名はかねがね―・んでおります」

聞(き)きしに勝(まさ)・る
聞いて予想していた以上に程度がはなはだしい。「―・る大惨事」「―・る豪華なホテルだった」

きき‐すま・す【聞（き）澄ます】
［動サ五（四）］
心を落ち着けてよく聞く。耳をすまして聞く。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きき‐と・める【聞（き）留める】
［動マ下一］［文］ききと・む［マ下二］
聞いた事を心にとめておく。聞きとどめる。「―・て以来忘れ得ぬ恩師の一言」

きき‐とど・ける【聞（き）届ける】
［動カ下一］［文］ききとど・く［カ下二］
要求や願いなどを聞いて承知する。聞き入れる。「要請がようやく―・けられた」

忌諱(きき)に触・れる
人のいやがることを言ったり、行ったりして、その人の機嫌をそこねる。「家元の―・れる」

き‐きゅう【危急】
危険・災難がさし迫っていること。「財政―の際」

き‐きゅう【希求】
［名］(スル)
強く願い求めること。「平和を―する精神」

き‐きゅう【帰休】
［名］(スル)
勤労者が勤務を離れ、一定期間休暇をとること。「一時―する」「―兵」

き‐きょう【奇矯】
［名・形動］
言動が普通と違っていること。また、そのさま。「―な振る舞い」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

き - ぎ【機宜】
時機にふさわしいこと。また、それをするのによい機会。「―を得た適切な措置」

き - ぐらい【気位】
自分の品位を誇り、それを保とうとする心の持ち方。「―が高い人」

きげき - てき【喜劇的】
［形動］
喜劇の様相を示すさま。こっけいなさま。「―な出来事」

き - こう【希覯】
めったに見られないこと。非常に珍しいこと。「―の古書」

き - こう【起工】
［名］（スル）
工事を始めること。大規模なものにいう。着工。「―式」

き - こう【寄港／寄航】
［名］（スル）
① 目的地まで航海中の船が途中の港に立ち寄ること。
②（寄航）航空機が、目的地までの航路の途中の空港に立ち寄ること。

き - こう【寄稿】
［名］（スル）
依頼されて、新聞や雑誌などに原稿を書いて送ること。また、その原稿。「雑誌に―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

き - こう【機構】
① 機械などの諸部分が互いに関連して働く仕組み。機械の内部構造。メカニズム。
② 会社・団体などの、組織。また、その組織の仕組み。「官僚―」「―改革」

き - こつ【気骨】
自分の信念を守って、どんな障害にも屈服しない強い意気。「―のある若者」

き - さい【奇才】
世にまれな、すぐれた才能。また、その才能の持ち主。「文壇の―」

き - さい【鬼才】
人間とは思えないほどの鋭い才能。また、その持ち主。「映画界の―」

き - さく【奇策】
人の予想もしない奇抜なはかりごと。奇計。「―を講じる」「―妙案」

きざみ - あし【刻み足】
小またでせわしげに歩くこと。また、その足運び。「―で忙しく歩く」

き - ざわり【気障り】
［名・形動］
相手の言動を不快に感じること。また、そのさま。「―な応対」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きしかた - ゆくすえ【来し方行く末】
［連語］
① 過去と未来。来し方行く先。「―を思う」
② 過ぎてきた方向・場所と、これから行く方向・場所。来し方行く先。

き - しゃ【帰社】
［名］（スル）
出先から自分の会社に帰ること。「営業マンが―する」

き - しゃ【喜捨】
［名］（スル）
進んで寺社、僧や貧者に金品を寄付すること。「托鉢僧に―する」

き - しゅ【奇手】
奇抜な手段。かわったやり方。「売り上げ倍増の―を放つ」

き - しょう【奇勝】
① 思いがけない勝利。また、思いもつかないような計略で勝つこと。奇捷（きしょう）。
② 珍しい景色。すばらしい景色。景勝。「天下の―」

き - しん【帰心】
故郷やわが家に帰りたいと願う心。「―が募る」

雉（きじ）も鳴かずば打たれまい
よけいなことを言わなければ、災いを招かないですむことのたとえ。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

き - じょう【機上】
飛行機に乗っていること。また、飛行機の中。「―の人となる」

き - じょう【騎乗】
［名］（スル）
馬に乗ること。「本命馬に―する」

帰(き)する所(ところ)
ゆきつくところ。つまり。結局。「言っていることは、―みな同じだ」

き - ずい【気随】
［名・形動］
自分の思いのままに振る舞うこと。また、そのさま。好き勝手。気まま。「―が過ぎる」

き - せい【気勢】
何かをしようと意気込んでいる気持ち。盛んな意気。「―をあげる」「―をそがれる」

き - せい【希世】
世にまれなこと。世にまれなほどすぐれていること。希代。「―の英雄」

き - せい【規正】
［名］（スル）
規則に従って、悪い点を正し改めること。「不均衡を―する」「政治資金―法」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

気勢(きせい)が上(あ)が・る
気分が盛り上がる。「決勝戦を控えて選手の―・る」

鬼籍(きせき)に入(い)・る
死んで鬼籍に名を記入される。死亡する。

機先(きせん)を制・する
相手より先に行動して、その計画・気勢をくじく。「―・して攻勢に出る」

き‐ぜわし・い【気忙しい】
［形］［文］きぜは・し［シク］
① あれこれと気持ちがせかれて、落ち着いていられない。きぜわしない。「―・い年の瀬」「―・く荷物をまとめる」
② 落ち着きがなく、せっかちである。きぜわしない。「相変わらず―・い男だ」

き‐ぜん【毅然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
意志が強くしっかりしていて、物事に動じないさま。「何を言われても―としている」「―たる態度を失わない」

き‐そう【起草】
［名］(スル)
草稿を書くこと。文案を作ること。「原案を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きそく‐えんえん【気息奄奄】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
息が絶え絶えになって、今にも死にそうなさま。また、物事が今にも滅びそうな状態にあるさま。「不景気で―としている企業」

き‐そん【帰村】
［名］（スル）
郷里の村に帰ること。「都会生活をやめて―する」

危殆(きたい)に瀕(ひん)・する
非常にあぶない状態になる。大きな危機にさらされる。「経済は―・している」

き‐たん【忌憚】
［名］（スル）
① いみはばかること。きらいいやがること。「友達から―され軽蔑されるような人間」
② 遠慮すること。多く、否定の語を伴って用いられる。「どうぞ―のないご意見を」

き‐だて【気立て】
他人に対する態度などに現れる、その人の心の持ち方。性質。気質。「―のいい娘」

きっ‐きん【喫緊】
［名・形動］
差し迫って重要なこと。また、そのさま。緊要。「―の問題」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

切(き)った張った
切りつけたり殴ったり、乱暴なことをするさま。「―の大立ち回り」

きつ - ぜん【屹然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
山などが高くそびえ立つさま。「―たる高峰」

狐(きつね)と狸(たぬき)の化かし合い
《狐も狸も人を化かすといわれるところから》
悪賢い者どうしが互いにだまし合うことのたとえ。

狐(きつね)につまま・れる
狐に化かされる。また、意外な事が起こって何が何だかわからず、ぽかんとする。
「―・れたような顔」

きつ - もん【詰問】
［名］(スル)
相手を責めて厳しく問いただすこと。「遅延の理由を―する」

きつ - りつ【屹立】
［名］(スル)
① 山などが高くそびえ立つこと。「市街には高層ビルが―している」
② 人が動かずに立っていること。「背後に―する男」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

き‐づまり【気詰（ま）り】
［名・形動］
相手や周囲に気がねなどをして、心がのびのびとしないこと。また、そのさま。「発言者がなく―な雰囲気」

き‐てん【機転】
その場に応じた、機敏な心の働かせ方。「―がきく」「―をきかす」

気(き)で気を病・む
必要のない心配をして、自分で自分を苦しめる。

き‐と【企図】
［名］(スル)
あることをくわだてること。また、その内容。もくろみ。「再建を―する」

き‐とく【奇特】
［形動］［文］［ナリ］《「きどく」とも》
言行や心がけなどがすぐれていて、褒めるに値するさま。「世の中には―な人もいるものだ」

きな‐くさ・い【きな臭い】
［形］［文］きなくさ・し［ク］
① 紙や布などのこげるにおいがする。こげくさい。「―・いと思ったら座布団がこげていた」
②《硝煙のにおいがすることから》戦争・動乱などの起こりそうな気配がする。「―・い国境地帯」
③ なんとなく怪しい。うさんくさい。「―・い感じのする話」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

き - なぐさみ【気慰み】
気持ちがなぐさめられること。また、そうした事柄。「―に菜園をつくる」

機(き)に乗・じる
好都合な状況や時期をうまく利用する。「―・じて攻め込む」

絹(きぬ)を裂くよう
《絹の布を裂くときに、高く鋭い音が出るところから》
非常にかん高く鋭い声のたとえ。多く女性についていう。「―な悲鳴」

き - ばえ【着映え】
着たときに衣服がりっぱに見えること。「―のしない柄」

牙(きば)を研・ぐ
相手を倒そうと準備して待ち構える。爪(つめ)をとぐ。「報復の―・ぐ」

牙(きば)を剥(む)・く
① 動物が、攻撃や威嚇のために牙をあらわに出す。
② 攻撃の意思をあらわにする。危害を加えようとする。

踵(きびす)を返・す
あともどりする。引き返す。きびすを回(めぐ)らす。「―・して家に駆け戻る」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

き - ふさぎ【気塞ぎ】
［名・形動］
気分がふさいで、晴れ晴れとしないこと。「―な一日を送る」

き - ほう【機鋒】
ほこ先。きっさき。また、鋭い勢い・攻撃。「―をかわす」

気骨(きぼね)が折・れる
あれこれ気を使って精神的に疲れる。気疲れする。「新人の教育は何かと―・れる」

きまま - ほうだい【気儘放題】
［名・形動］
わがままの限りを尽くすこと。また、そのさま。「―に育った子」

気脈(きみゃく)を通・じる
互いに連絡をとって意志を通じ合う。「計画実行のために―・じておく」

きむずかし - や【気難し屋】
気難しい人。機嫌のとりにくい人。

木目(きめ)が細か・い
細かいところまで気が配られている。「―・い仕事ぶり」

きゃく - あしらい【客あしらい】
客をもてなすこと。また、そのしかた。客扱い。「―がうまい」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きゅう - あく【旧悪】
過去に犯した悪事。「―が露見する」

きゅう - えん【旧縁】
古くからの縁故。昔のなじみ。「―を頼る」

久闊(きゅうかつ)を叙・する
無沙汰をわびるあいさつをする。久し振りに友情を温める。「互いに―・する」

きゅう - きゅう【汲汲】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
一つのことに一心に努めて、他を顧みないさま。また、あくせくしてゆとりのないさま。「―として一生を終える」

きゅう - げん【急減】
［名］(スル)
急に減ること。また、急に減らすこと。「売り上げが―する」⇔急増。

旧交(きゅうこう)を温・める
昔からの交際を再び始める。

きゅう - しゅん【急峻】
［名・形動］
傾斜が急で険しいこと。また、そのさま。「―な山坂」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きゅうしん - てき【求心的】
［形動］
思考などが内面に向かおうとする傾向。「―な態度」

きゅうしん - りょく【求心力】
他人を引きつけ、その人を中心にやっていこうとさせる力。「首相の―が低下する」

きゅう - じょう【窮状】
貧困などのために困り果てているようす。「―を救う」

きゅう - せい【急逝】
［名］（スル）
急に死ぬこと。急死。「―した作家を悼む」

きゅう - せつ【急設】
［名］（スル）
急いで設けること。急に設けること。「救護所を―する」

きゅう - せんぽう【急先鋒】
先頭に立って勢いよく行動したり、主張したりすること。また、その人。「反対派の―に立つ」

きゅう - そ【泣訴】
［名］（スル）
泣いて訴えること。嘆き申し述べること。「窮状を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きゅう - そう【急送】
［名］（スル）
物品を急いで送ること。「救援物資を―する」

きゅう - たい【旧態】
昔からの状態やありさま。「―に復する」

きゅう - たいせい【旧体制】
これまでの古い体制・制度。「―の打破を叫ぶ」

きゅう - ちょうし【急調子】
調子や物事の進み方が非常に速いこと。急テンポ。「―で事が進む」

きゅう - つい【急追】
［名］（スル）
急いで追うこと。激しく追いかけること。「先行馬を―する」

きゅう - はい【朽廃】
［名］（スル）
建物などが古くなり、役に立たなくなること。「―した山小屋」

きゅう - はく【急迫】
［名］（スル）
① 物事が差し迫った状態になること。せっぱつまること。「事態が―する」
② 敵などが急速に迫ってくること。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きゅう - はく【窮迫】
［名］（スル）
行きづまってどうにもならなくなること。特に、金銭的に差し迫って困り果てること。「―した生活」

きゅう - ひつ【休筆】
［名］（スル）
文筆家が執筆活動を休むこと。「一年間―する」

きゅう - ふう【旧風】
古い風習。昔からのしきたり。「―を改める」

きゅう - ぶん【旧聞】
耳新しくない、古い話。以前に聞いた話。「もはや―に属する話」

きゅう - へい【旧弊】
［名・形動］
① 古い習慣・制度などの弊害。「―を改める」
② 古い習慣や考え方にとらわれること。また、そのような言動やさま。「―な人」

きゅう - ぼ【急募】
［名］（スル）
急いで募集すること。「従業員を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きゅう - ぼう【窮乏】
［名］（スル）
金銭や物品が著しく不足して苦しむこと。「生活が―する」

きゅう - めい【糾明】
［名］（スル）
罪や不正を糾問し、真相を明らかにすること。「罪状を―する」

きゅう - もん【糾問】
［名］（スル）
罪や不正を厳しく問いただすこと。「証言の真偽を―する」

きゅう - ゆう【旧友】
古くからの友達。また、昔の友人。「―と再会する」

きゅう - よ【窮余】
追い詰められて、困ったあげく。苦しまぎれ。「―の一策」

きゅう - らく【及落】
及第と落第。合格と不合格。「―の分かれめをさまよう」

きょう - あい【狭隘】
［名・形動］
① 面積などが狭くゆとりがないこと。また、そのさま。「―な土地」
② 心がせまいこと。度量が小さいこと。また、そのさま。「人を容(い)れない―な心」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きょうあつ‐てき【強圧的】
［形動］
相手を力ずくで押さえようとするさま。「―な手段」

きょう‐えん【狂宴】
常識はずれの大騒ぎをする宴会。「―を繰り広げる」

きょう‐か【教化】
［名］（スル）
人を教え導き、また、道徳的、思想的な影響を与えて望ましい方向に進ませること。「人民を―する」「―活動」

きょう‐かん【胸間】
① 胸のあたり。「―に輝く勲章」
② 胸のうち。「―に秘めた思い」

興(きょう)が乗・る
おもしろさを感じて夢中になる。

興(きょう)が湧(わ)・く
おもしろさを感じる。

きょう‐き【驚喜】
［名］（スル）
思いがけない出来事に驚き喜ぶこと。「異国での再会に―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

胸襟(きょうきん)を開・く
思っていることをすっかり打ち明ける。「―・いて語り合う」

きょう‐けん【強健】
［名・形動］
からだが強くて丈夫であること。また、そのさま。「―な身体」

きょう‐げき【挟撃】
［名］(スル)
両方からはさみ撃ちにすること。「前後から敵を―する」

きょう‐こう【強攻】
［名］(スル)
損害や危険を覚悟で強引に攻めること。「―策に出る」

きょう‐さ【教唆】
［名］(スル)
① ある事を起こすよう教えそそのかすこと。「―扇動」
② 他人をそそのかして犯罪実行の決意を生じさせること。

きょう‐さい【共催】
［名］(スル)
二つ以上の団体が共同で一つの催しを行うこと。「新聞社と―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きょう - さく【狭窄】
［名・形動］
すぼまって狭いこと。また、そのさま。「海峡の―な部分」「視野―」

きょう - さく【競作】
［名］（スル）
数人が作品をきそって作ること。「桜をテーマに写真家が―する」

きょうざつ - ぶつ【夾雑物】
あるものの中にまじっている余計なもの。「―を取り除く」

きょう - しゅ【凶手】
人を殺傷しようとする者。また、そのしわざ。「―に倒れる」

きょう - しゅ【興趣】
味わいの深いおもしろみ。「―を添える」「―が尽きない」

きょう - しゅう【強襲】
［名］（スル）
① 強引に攻めること。強攻。「敵の陣地を―する」
② 猛烈な勢いでおそうこと。「ピッチャーの安打」

きょう - しゅう【郷愁】
① 他郷にあって故郷を懐かしく思う気持ち。ノスタルジア。「故国への―を覚える」「―にかられる」
② 過去のものや遠い昔などにひかれる気持ち。「古き良き時代への―」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きょう - しゅう【嬌羞】
女性のなまめかしい恥じらい。「―を含んだまなざし」

きょう - しょく【矯飾】
［名］（スル）
うわべをとりつくろい飾ること。「―して言う」

きょう - じ【矜持】
《慣用読みで「きんじ」とも》
自分の能力を優れたものとして誇る気持ち。自負。プライド。「―を傷つけられる」

きょう - じゅん【恭順】
［名］（スル）
命令につつしんで従う態度をとること。「王に―の意を表する」

きょう - じん【凶刃】
人を殺傷するために用いる刃物。「―に倒れる」

きょう - すい【狂酔】
［名］（スル）
ひどく酒に酔うこと。また、酒に酔って乱れること。「―した挙げ句の行為」

きょう - そう狂騒】
狂ったような騒がしさ。「都会の―から逃れる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きょう - そう【強壮】
［名・形動］
からだが丈夫で元気なこと。また、そのさま。「―な身体」

きょう - たい【狂態】
正気とは思われない振る舞いや態度。「酔って―を演じる」

きょう - だん【凶弾】
凶悪な者が撃った弾丸。「―に倒れる」

きょう - ちょう【狭長】
［名・形動］
細長いこと。また、そのさま。「―な谷あいの平地」

筐底(きょうてい)に秘・する
人目にふれないように、箱の底深くしまっておく。「原稿を未発表のまま―・する」

きょう - てき【狂的】
［形動］
正常でなく、気が狂ったかに見えるさま。「―な信仰」

きょう - どう【教導】
［名］(スル)
学問的な理念や宗教思想などに基づいて、教えみちびくこと。「信者を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

教鞭(きょうべん)を執(と)・る
教師になって学生・生徒を教える。教職に従事する。「三〇年間―・った」

きょう‐ほん【狂奔】
［名］(スル)
① 狂ったように走りまわること。
② ある目的のために夢中になって奔走すること。「資金集めに―する」

きょう‐まん【驕慢】
［名・形動］
おごり高ぶって人を見下し、勝手なことをすること。また、そのさま。「―な態度」

きょう‐ゆう【享有】
［名］(スル)
権利・能力などを、人が生まれながら身につけて持っていること。「基本的人権の―」「人間は自由と責任とを―している」

きょう‐らく【享楽】
［名］(スル)
思いのままに快楽を味わうこと。「―にふける」「人生を―する」

きょう‐らん【狂瀾】
① 荒れ狂う大波。
② 物事が狂い乱れている状態。「時代の―に身をまかせる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きょう‐らん【供覧】
［名］（スル）
多くの人が見られるようにすること。「―に付す」「作品を―する」

きょう‐りょう【狭量】
［名・形動］
人を受け入れる心が狭いこと。度量が狭いこと。また、そのさま。「―な人間」⇔広量。

きょく‐がい【局外】
① 事件や仕事などに直接関係をもたない立場。「―に立つ」「―から見守る」
② 郵便局・放送局など、局とつく機関の管轄外の地域。⇔局内。

きょく‐げん【曲言】
［名］（スル）
はっきり言わないで、それとなく意味を含ませて言うこと。また、その言葉。「―してなかなか真意をつかませない」

きょく‐げん【局限】
［名］（スル）
ある一定の部分に範囲を限ること。「問題を―して検討する」

きょく‐げん【極言】
［名］（スル）
極端な言い方をすること。遠慮せずに言うこと。また、その言葉。「―すれば学歴は何の意味ももたない」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きょく - ざい【局在】
［名］（スル）
限られた場所に存在すること。「都市部に―する販売店」

きょく - しょう【極少】
［名・形動］
きわめて少ないこと。また、そのさま。「―な資源」

きょく - せつ【曲説】
［名］（スル）
事実を曲げて説明すること。また、その説明。「発言内容を―した記事」

きょくぶ - てき【局部的】
［形動］
ある限られた部分だけに関係しているさま。「―な雨」

きょく - ろん【曲論】
［名］（スル）
道理を曲げて論じること。まちがいを正しいものとする議論。「自己の正当化のために―する」

局（きょく）を結・ぶ
ある事柄・場面を終わらせる。「激励の辞で書簡の―・ぶ」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きょ‐げん【虚言】
［名］（スル）
うそを言うこと。また、その言葉。きょごん。「―を弄する」

きょし‐てき【巨視的】
［形動］
① 人間の感覚で直接に識別しうる程度の大きさを対象とするさま。「―な世界」⇔微視的。
② 事物を全体的に観察するさま。マクロ的。⇔微視的。

巨星(きょせい)墜(お)・つ
偉大な人物が死ぬ。「文壇の―・つ」

挙措(きょそ)を失・う
取り乱した行いをする。挙措を失す。「突然の悲報に接して―・う」

虚(きょ)に乗(じょう)・ずる
相手の油断につけ込む。

きょ‐ひ【巨費】
巨額の費用。「―を投じる」

きょ‐ひ【許否】
許すことと許さないこと。「請願事項の―を決する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きょ - ふ【巨富】
非常に多くの財産。「―を築く」

きょ - ぶん【虚聞】
① 事実無根のうわさ。虚説。「―に惑わされる」
② 実力の伴わない名声。虚名。

きょ - ほ【巨歩】
① 大またで勢いよく歩くこと。
② すぐれた業績や手柄。「医学史に―をしるす」

きょむ - てき【虚無的】
［形動］
世の中や人生などがむなしく思われるさま。「―な人生観」

居(きょ)を構(かま)・える
その土地と決めて家を建てること。場所を決めてそこに住むこと。

虚(きょ)を衝(つ)・く
相手の弱点や無防備につけ込んで攻撃する。「―・かれて返答に困る」

綺羅(きら)を飾・る
① 華やかに装う。「―・った宴の出席者たち」
② 体裁をつくる。見えを張る。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きり - そ・ぐ【切り殺ぐ】
［動ガ五（四）］
先がとがるように切り取る。「―・いだように立つ峰々」

きり - むす・ぶ【切（り）結ぶ／斬（り）結ぶ】
［動バ五（四）］
互いに刀をまじえて切り合う。また、激しく争う。「丁々発止と―・ぶ」「論敵と激しく―・ぶ」

き - ろ【岐路】
① 道が分かれる所。分かれ道。
② 将来が決まるような重大な場面。「人生の―に立つ」
③ 本筋ではなく、わきにそれた道。

きろく - やぶり【記録破り】
従来の記録をしのぐこと。また、そのような出来事や状況。「―の暑さ」

奇(き)を衒(てら)・う
わざと普通と違っていることをして人の注意を引こうとする。「―・った表現」

気(き)を呑(の)ま・れる
心理的に圧倒される。「相手の勢いに―・れる」

きん - あつ【禁圧】
［名］（スル）
権力で無理におさえつけて禁じること。「宗教を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きんか - ぎょくじょう【金科玉条】
《揚雄「劇秦美新」から》
最も大切な法律・規則。絶対的なよりどころとなるもの。「父の教えを―とする」

きん - きょう【禁教】
ある宗教の信仰や布教を禁止すること。また、その宗教。「―令」

きん - さく【金策】
［名］（スル）
必要な金銭を準備すること。また、そのための工夫。金の工面。「―に走る」

きんしがん - てき【近視眼的】
［形動］
大局を見通せず、目先の事だけにとらわれているさま。「―な意見」

きん - せい【均勢】
複数の勢力のつりあいがとれていること。「列強が―を保つ」

きん - せい【均整／均斉】
全体的につりあいがとれて整っていること。「―のとれた体型」

きん - そく【禁足】
［名］（スル）
① 一定の場所から外へ出るのを禁止すること。「―を命じる」
② 罰として外出を禁止すること。「―を食う」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

きん - ちゃく【近着】
最近到着したこと。また、そのもの。「―の外国映画」

金箔(きんぱく)が剥(は)・げる
上辺だけの飾りがとれて、隠れていた実質・本性が現れる。めっきがはげる。

きん - みつ【緊密】
［名・形動］(スル)
物と物とがすきまなくくっつくこと。物事の関係が密接なこと。また、そのさま。「―な連絡をとる」

きん - よう【緊要】
［名・形動］
非常に重要なこと。差し迫って必要なこと。また、そのさま。「最も―な議題」「国を挙げての取り組みが―である」

きん - らい【近来】
近ごろ。最近。副詞的にも用いる。「―にない大盛況を呈する」「―まれな事件」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　　↓　　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.